



**新築見学会： 定年後の生活を楽しむ 19坪の住まい**

町田市玉川学園K邸  
 (設計担当：堺原敏夫)  
 交通：小田急小田原線  
 「玉川学園前駅」から徒歩12分

日時：2017年2月4日(土) 13:30~15:00



以前オルタスクエアで手掛けたお二人だけの住まい 豊島区H邸

○ お子様家族との同居ではなく、長年過ごした住まいの処分を決意。お子様の近くに土地をもとめ、ご夫婦二人だけのこだわりの住まいになりました。  
 無垢材や自然素材を多用し、地形を生かして部屋からはもちろん浴室からの眺めも良好です。これからを考え上下階をゆるい階段でつなげ、床面積が19坪のコンパクトで使い易い住まいとなりました。これからもう一度希望の住まいを！とお考えの方必見です。

敷地面積：136.00㎡ (41.14坪)	延べ床面積：63.62㎡ (19.25坪)	建築面積：31.81㎡ (9.62坪)
屋根：ガルバリウム鋼板葺き	外壁：ガルバリウム鋼板張り	床・天井：杉無垢板張り
内壁：漆喰塗り、杉無垢板張り	設備：1F、2F共 温水床暖房 (熱源：ガス)	

**オルタスクエアの畳のご案内！**

○ 新築でもリフォームでもオルタスクエアで扱っている畳の畳表になるイグサは「安心・安全・健康」を考え減農薬によるものと、無農薬によるもの両方をそろえております。  
 イグサを育てている生産者は熊本県と佐賀県の決まった方にお越し、オルタスクエアの設計理念である「顔の見える関係」を築いております。



イグサを育てている畑の風景



生産者の小林昌修さん

**畳価格表**

	選別	表替えの価格	新畳の価格	
無農薬	2番毛	¥13,068-	¥23,220-	
	減農薬	1番毛	¥12,960-	¥23,112-
		2番毛	¥11,016-	¥21,168-
		4番毛	¥8,964-	¥19,116-
		5番毛	¥8,046-	¥18,198-

※新畳の場合、古い畳の処分費は別途頂きます

**築7年の麻生区H邸見学会報告**

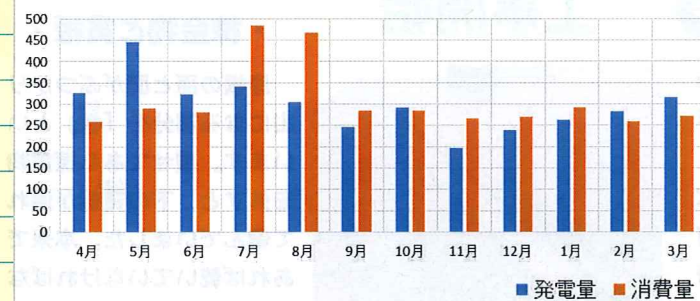
かわさき生活クラブやユニオン共済たすけあいのリーダーならみんなが知っている麻生区H邸が築7年経ちました。10/1(土)に見学会を開催させていただきました。  
 無垢の木はいい色に濃くなってきましたが、漆喰は新築時と変わらない白さです。ビニールクロスと違って静電気を起こさず汚れを引き寄せないため。しかし、大事なのは、その空気清浄の力です。

ご主人からは、以前の家と比較して明るく陽が入り湿度も調整された木の家の快適さを喜んでいただきました。Hさんからは、建築の工事が丁寧だと近隣の方から褒められたことがとてもうれしかったことなど当時の様々な思い出を話していただきました。

「国産材で化学物質フリー、健康にも環境にも配慮した、地域の居場所となる家を建てたい」という夢から生まれたH邸。屋根には太陽熱集熱パネルと太陽光発電(3.04kW)が載っています。ゴールドレトリバーのじゅん君のために夏のエアコン使用量が増えたとのことですが、それでも2015年度の電力使用量は3,710kWhと抑えられています。そして、年間の太陽光発電量3,573kWhは使用量の96%をカバーしています。

かわさきリサイクル石けん「きなりっこ」のための廃食用油回収ポイントであり、「せっけんの家」でもあるH邸。人のつながりと資源・エネルギーの循環をさらに広げていくでしょう。

麻生区H邸2015年度太陽光発電データ(単位:kWh)



2015年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発電量	326	445	323	342	305	247	291	196	238	262	283	315	3573
消費量	259	290	280	484	467	285	285	267	270	292	259	272	3710

単位：kWh



じゅん君



明るい漆喰塗りの吹き抜けダイニング



みんなで調理ができるアイランドカウンター



廃食用油回収ポイントです。 雨水タンク



新築時に屋根に載せた太陽熱集熱パネルと太陽光発電3.04kW

## リフォームの現場から



～ある日の小林清さん～

### 押入れ床板張替え

藤沢市のHさん。長年お父様がお住まいだったお家を手入れしてそちらに引っ越すことになりました。半間と一間の押入れがあり、荷物を入れようとしたところ、床板がバリバリッと割れてしまいました。そこで、オルタスクエアに連絡をいただき、リフォーム現場管理の小林さんが対応することに。現場を見てみると、使われていたベニヤ板は簡単に折れ曲がってしまうほど傷んでいました。年数も経っていましたが、床下の湿気も影響しているようだったので、新しい床は耐水ベニヤにして貼りなおしました。



1 床板は経年変化と湿気でボロボロ状態



2 湿気に強い耐水ベニヤをカット!



3 寸法を確認して取り付け



「雑巾摺り」を打って  
**完成!**

## リフォームの現場から



### スレート屋根の劣化と張替え工事

築25年のお家に住む南足柄市のHさん。そろそろ屋根の葺き替えが必要と思い、ご自身で屋根のことを色々調べたところ、ガルバリウム鋼板の表面に天然石の粒を厚さ2mm貼り付けた「オベロン」という製品の性能がよいと知り、当社に相談がありました。お見積もりのご承認をいただき工事を行いました。

#### 工事前



スレート板の周囲に水染みができています。屋根の裏側に水が入っている可能性が高いと考えました。

#### 工事開始



#### ・棟金物と貫板・

屋根の面と面がぶつかり山になる部分を「棟」といいます。被せてある棟金物を外すと、下の貫板が濡れて傷んでいました。本来であれば乾いていなければなりません。

つづき



#### ・スレートとスレートの間・

スレート板を剥がしていくと、間に土埃がたくさん溜まっており、これが雨水を吸い上げる主な原因です。通常はスレート下に雨が入っても隙間から水分が抜け、自然にスレート下が乾きますが、たくさんの土埃により、乾ききれず常にスレート下が濡れた状態になっていました。



#### ・防水ルーフィングの傷み・

スレート板を剥がすと、防水ルーフィングが出てきます。施工して20年以上経過したルーフィングは写真のようにボロボロになっているのが通常です。



#### ・野路板の傷み・

スレート下に常に水があり、その下の防水ルーフィングも傷んだ状態だと、その下の野地板も濡れ続け、雨漏りにつながります。案の定、酷い傷みが2ヶ所あり、剥がすと雨水が落ちている痕があったので、新しい野路板に貼り替えました。



現在の防水ルーフィングは20年以上前のものに比べるとかなり丈夫になっています。

### 屋根完成!



Hさんご希望の「オベロン」を葺きました。細かい点に配慮して工事をする事で、雨漏りに強い屋根になります。施工する職人の技術の見せ所です。

\* お問い合わせはオルタスクエア (株) 045 (476) 1105までご連絡下さい。